



物流ニッポン

発行/月曜日・木曜日 第3289号

購読料/半年32,130円(月額5,355円、税込)

©物流ニッポン新聞社 2010 (1969年4月1日第3種郵便物認可)

2010年(平成22年)

2/18
(木曜日)

中古トラックオークション

トラック関連のアウトソーシングビジネスを展開するJACSS(尾崎博文社長、東京都千代田区)は、中古トラックのオークションサービスと総合サポートサービスを本格的に開始する。25日の東京を皮切りに、各地で無料セミナーを開催し、PRを強化。取り扱い車両数を3年以内に年間1万2000両まで拡大していく。

中古トラックオークションサービスは、トラックを売却したい運送事業者に代わり、

JACSS

サービス本格開始

手数料、落札価格の1割に

同社が車両の状況に応じた最適なマーケットへ出品するもの。落札価格からオークション費用、登録諸費用、代行手数料、輸送費を差し引いた額が売脚主の利益となる仕組み。同社で在庫や店舗を持たないため、手数料を落札価格の1割に抑えられるのが特長。同社によると「ディーラーや買取業者の下取りに比べ、売却主の収益が3倍以上になるケースもある」という。登録代行やオークション会場への輸送など周辺業務もサポートする。また、運送事業者の総合サポートサービスも提供。デジタルタコグラフを利用した安全研修プログラムに販売や運転日報のWeb管理、車検会社の仲介といった幅広いニーズに合ったサービスをラインアップしており、営業代行サービスも視野に入れている。運送事業者を対象にした無料セミナー「物流経営フォーラム」は、東京、名古屋、大阪の3か所で開催する。

(大沢 瑛美子)